



シルバーだより

No. 263
平成 24 年 5 月 1 日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

共に学び生きることの幸せ

～自助・共助・公助～

理事長 岡田芳子

新緑の季節になりました。様々な花が咲きほこり、日本の四季の美しさを感じます。今年も 4 月 16 日に開講・入学式が行われました。新入生 121 名、総学生 898 名そして協力会員が 32 名です。豊かな時間を過ごされますことを願っています。

シルバー大学の学生の皆様は、自分の足で今日を生きて喜びを見つけ、自分のことは自分で責任をもって前向きは、自助の精神です。

そして、一人では心が開かず不安があります。隣の人自分に自分ではできない、その逆もあります。そんな時“一緒にう、一緒に行きましょう”などの声かけは、シルバー大学い、シルバー大学の人に会いたいと、人がつながることに合いが生まれ喜びとなります。これが共助です。

それでも高齢者である私達は、多くの公共のお世話になす。医療のこと、地域社会の集まり、学習施設、社会福祉等々、それが公助です。

荒川区は、幸福実感都市として、区長 西川太郎様をはじめ、区議会議員の皆様、そして多くの関係機関のご尽力により生活ができています。これからもシルバー大学での学びの楽しさをまわりの人々に伝え、共に生きることの幸せの輪を広げていきましょう。

人は宝です。自然も宝です。そして学ぶことができるシルバー大学も宝です。人が生きるということは、学べることが大きな要素であると思います。もうこの歳だからと思う人はだれもいません。なぜって、学びを求めて学校に来ているからです。この学びこそが何歳になっても「エー、そうだったの！」と驚き知る楽しみがあり、ゆかいな時間となります。

「無縁社会」が課題の今、語り合える友だちがいる私たち、なによりの幸せだと思おうのです。元気で共に学び合いましょう。



いること
に行う姿

できるの
しましょ
に行きた
より助け

っていま



平成 24 年度 開講・入学式

平成 24 年 4 月 16 日 (月)、平成 24 年度開校・入学式が、曇りとは云えども温暖な気候の日に恵まれ、サンパール荒川大ホールに於いて執り行われました。第一部の式典には、区の教育長・区議会議員長・警察署長他、多くの来賓の方々に御出席を戴きました。理事長・学長、挨拶のあと来賓の方の祝辞に、出席された新入

学の生徒さん及び大勢の在校生は静かに拝聴しました。

そして新入生を代表して、学長の前で、松坂 麗子さん（東尾久・38班）による“誓いの言葉”が述べられ、校歌を全員で斉唱して第一部は終了しました。第二部では、新しく出来た二教室の講師を始め、全教室の講師の紹介を学長が、そして新役員を含む各担当の役員並びに各地区長が理事長により紹介があり、亦その後地区長による班長紹介で、滞る事なく式は全て終了しました。

此の式典を施行するにあたって、いろいろな役をお願いした、多くの班長さん・教室の代表の方にはご苦勞をお掛けしたことを、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。
実行委員長 宮澤 健一

講師による教室紹介・・・そのI（投稿順）

硬筆教室（松原淑子先生）

基礎基本を大事にしながら、美しい文字、のびやかな文字を心を込めて、丁寧に書いていきます。日常生活の中で静かに集中して物事に取り組む機会は、そうたくさんありません。忙しい暮らしのひと時を、無心になって文字を仲立ちにして自己との挑戦は、何と清しいことではないでしょうか。言葉を書くことを通して、古典や詩歌や名作に触れ、日本人の繊細な感情や表現の美しさに気付いていく楽しさも一緒に味わっていきましょう。

書道教室（松原淑子先生）

従来より、千字文や小倉百人一首を勉強してきましたが、昨年度より心に残る言葉を個性豊かに表現することを加えて、挑戦を広げてきました。楷書・行書・草書の持つ特長を押さえながら、世界の人々の箴言等の深さを味わいつつ白い紙に墨黒々と打ちおろす瞬間の心のどよめき、一点一画も疎かにしない全力を尽くしたあとの疲労感、次への意欲となって蘇ります。今、生きている証しが書道から実感できる幸せを一緒にしていきましょう。

絵手紙A教室（岡田芳子先生）

個性に輝く心あたたまる一枚の絵。「へたでいいよ、へたが楽しいよ。」と気負わずあるがままに表現し、心の思いをひとこと添えて描きます。絵はちょっとネー、という方、絵手紙教室へいらしてください。自分の中に、ねむっている表現する力にびっくり、楽しいですよ。

絵手紙B教室（岡田直美先生）

本年度は十周年に当たります。絵手紙作品展を町屋文化センターで11月22日～28日を予定しています。展示内容としては年間計画に基づきカレンダー作り（巳年）扇面、円窓、絵手紙箋で四季折々を自由に描いてこれを展示の予定です。A組で経験をつんだ方々がさらに向上をめざして、和気あいあいと学びます。

料理教室（立川禮子先生）

料理教室は24年度から尾久ふれあい館の新しい調理室を最新式の設備・備品でそれを使いこなして料理を作るのが課題



使います。
になります。

I・Hに合う鍋を使って36人の料理を作るのには一工夫が必要です。献立の内容や慣れないI・Hレンジで料理づくりを苦しめないように、私も最大限の努力をする決心です。月2回の教室ですから節電のノルマに追われないでおいしい料理を作って脳と胃を元気にしましょう。

社会科見学教室（高橋建司先生）

事故もなく、雨天になった事もなく、順調に3年目を迎える事ができました。継続者55名と新受講生5名の60名で新年度をスタートします。1期生は今年度3年の有期間が終わり修了しますが、修学旅行が楽しみです。マナーを守り、混雑している時も整然と歩く皆さんが頼もしく思います。今年も笑顔が出たり、感動するところを準備していますので、楽しみにしててください。

日本の話芸教室（塚田義介先生）

文豪・夏目漱石は、小説『三四郎』の中で「名人小さんと同時代に生きている私達は幸せである」と主人公に言わせています。昭和の30年代から40年代にかけても、多くの名人達が活躍しました。しかし、残念ながら、当時、働きバチの私達は、中々、寄席に行く暇もありませんでした。今、『日本の話芸教室』では、昭和の名人達の芸を鑑賞し、彼らと同時代に生きた幸せを感じると共に、日本人の心（喜怒哀楽）を学びたいと思うのです。

華道教室（内藤眞澄先生）

花は暮らしに必要というわけではないですが、部屋の中に飾ってあると自然に心を和ませて、気分も明るくしてくれることもあります。活け方は基礎基本を大切にしながら、時には、ちょっとしたアレンジを加えおしゃれに、季節の移ろいを種々の花で表現して、楽しい教室にしていきたいと思えます。毎回花材が違うにもかかわらず、皆さんの熱心で努力している姿は素晴らしいもので、敬服しております。

歌声クラブ教室（本田晴子先生）

学校帰りのあぜ道で口ずさんだ歌。また、友達と遊んでいる時、何とはなしに歌う曲。ラジオからもれ聞こえてくる旋律。瞬時にあの時を思い出させてくれる歌の数々。そんな心ひかれる曲をピアノの伴奏にのせて思いっきり声を出していきましょう。きっとお気に入りのメロディが元気と希望を与えてくれるに違いありません。

水彩画教室（遠藤光胡先生）

水彩画教室は、今年19年目を迎えました。この間毎年3月の年の習作展を開催してきました。授業では、常に絵画の基礎に指導しています。全ての教科もどんなスポーツも基礎がベースと進歩は望めません。基礎が身につけば、自己の世界が広がり大きな自信になります。

恒例となった年末の習作展は、その成果を具現する大事な行事となっています。



には、それを重点的にしない

被災者の声

その1、岩手県で被災した越田チエ様

テレビや新聞で見る被災地は、一年も過ぎているのに復興の兆しは大きくは見えません。私達が見てもどうしてもっと国が動いてくれないのだろうと思っているのに、被災した方達の心はどんなにもどかしく、辛いだろうと思います。何か手助けする方法はないかと考え、辛く悔しい心を分かち合いたいと、被災した方におめにかかれるよう、学長さんに道を開いていただきました。

3月31日、「アクロスあらかわ」で2ヶ月に一度行っている、被災者交流会に出席させていただきました。藤田社会福祉協議会事務局長の挨拶の後、ボランティアの方のヴァイオリン・ギターの演奏・カラオケと、楽しい時間の途中、局長さんが選んでくださった被災者の方から、お話を聞くことが出来ました。

岩手県下関伊部山田町で被災された、84歳の越田チエ様が明るいお顔で話してくださいました。

3月11日、お買物から帰って食事の用意をしようと、ガスに火をつけた途端、物の落ちる音と一緒に、立ってられない程の揺れに「お父さん逃げよう」と普段用意してあったリュックを持って、妹が住んでいる高台に向かって歩きはじめました。道路は人・人・人・・・。

主人は足が痛いと言いつつ立ち止まり「俺はもういいよ、お前だけ行け」と。越田さんは「どうしてお父さんを置いて行けるの」と・・・。私は涙が出て両手で顔を覆ってしまいました。やっとの思いで妹の家に着いたのですが、妹の家は山火事にあってしまいました。また避難所を探して歩きました。どの避難所もいっぱい。やっと見つかった中学校は危ないと言う事なので、又歩いて、やっと山田高校で毛布を二枚もらいました。一枚掛けて寝ましたが、寒くて寒くて……。毛布をかいてしまいました。

私の家は海が近いので全部流されました。岩手に帰りたく建っていた所は、建ててはいけなくなりました。土地を買って家を建てるには、もう年を取り過ぎました。思って目を閉じると津波に追いかけて逃げた時の事が何にも考えられないのです。

本当に辛い気持ちが伝わってきました。

シルバー大学で学べる私達は幸せだと思います。だから辛い思いで生きている方の事も忘れたくないと思います。



た。一枚ぶって泣いても家がた。高台眠ろうとに映って、

広報部 佐藤恒子

5 月 の 行 事 予 定

期 日	行 事	講師プロフィール
24 (木)	講義：社 会 「基礎自治体から基幹自治体へ」	区長 西川太一郎様
会場：サンパール荒川三階 (小ホール)		時間：午後 2 時より 入場料：無料

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (4 月) ◆◆◆◆◆

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 4 日 役員会(学校案内他配付) | 16 日 平成 24 年度開講・入学式 |
| 5 日 入学式打ち合わせ(サンパール) | 在籍総数 921 名 |
| 12 日 24 年度規約・名簿印刷完成 | 内新入生 121 名 |
| 13 日 真土教室使用願提出 | 25 日 広報委員会 |
| | 30 日 シルバーだより 263 号作成 |

1. **講義及び講座開始の件**：日時・会場は学校案内書類・日程表または学校の掲示板をよく見て確認して下さい。又教室使用後の掃除、戸締りを確実にを行い、教室で出たゴミは責任を持って各自お持ち帰りください。
2. **教室使用手続き時間の件**：生涯学習センター窓口への【使用承認書】提出時間は、午前教室は 9 時 30 分より、午後教室は 12 時 20 分より提出お願いします。時間厳守でよろしくお願い致します。又終了後の鍵他の返納は速やかにお願いします。
3. **5 月の練習日変更について**：英語教室は 18 日と 25 日です。会場は第 3 会議室です。※6 月は 1 日と 15 日です。

※荒川シルバー大学【事務所】営業時間のご案内

(月～金曜日) 午前 9 時 30 分～午後 4 時 土日祝祭日は休み
事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691
<http://www.arakawa-silver.com/>



室長・田原